



# 英語で 世界史用語 (大学受験向け)



原作 : Dr.K



著作 : TKOプロジェクト



@tkoproject

## ■はじめに

この「**英語で世界史用語(大学受験向け)**」という参考書は、英単語参考書多数(ゴロあわせ合格英単 V ワードシリーズ他)と世界史用語の参考書(Dr. K の直観で覚える世界史 V 用語)を執筆した、Dr.K と TKO プロジェクトならではの、**英語と世界史のダブル参考書**です。

(なお、**これまでの執筆分や著者紹介については、巻末に記載**しています。)

さて、この参考書は、高校時代に**英語の学習をするときに、一緒に社会科や理科の勉強もできればいいのに、**という動機から、構想されました。

つまり、英語という語学で表現された文章の中身そのものが、他の科目の必須内容であれば非常に効率がいいではないか！英文暗記にも力が入る！ということです。

主語がジョンやメアリの意味のない短文よりも、主語がナポレオンやカエサルで中身が重要な世界史上の史実のほうが、世界史受験者にとっては、はるかに「役に立つ」英文だということです。

そこで、以下のような工夫点を織り込み、これまでになかったユニークで効率的な参考書を仕上げました。

1. 著名な全ての、**世界史用語集、世界史 1 問 1 答集の文章を、なるべく最大公約数的に、かつ、そのままに近い形で英文に**しました。(なお、英文の中には、ウィキペディアなどの著作権フリーなネイティブ教材を基本にしたものもあります。)

したがって、極力、訳文＝和文が、販売中の高校生向けの多数の世界史用語集の表現と重なるようになっていしますので、「日本語訳文はそのまま暗記・理解すれば、世界史の学習にもなる」形になっています。

英語学習で英文を暗記するほど学習しても、英語の学習にしかありませんが、この参考書なら、その暗記した英文がそのまま世界史の得点源になるわけです。

2.ただ、ネックは、世界史用語そのものの単語自体＝固有名詞などは、そのまま英文表記で覚える必要もないので、時間の無駄です。

なので、英語表記の固有名詞は極力、英文中ですぐ分かるように日本語で( )内に表記しました。

これにより、ストレスフリーでスイスイ、英文が読めますし、不要な英単語で詰まることもありません。

英文中で、すぐ後ろに日本語が書いてある英語の固有名詞等は、高校英単語として認識、ピックアップする必要はありません、ということです。

3.題材としての世界史用語は、①～③の三段階に分けて、【 】でハイライトして、表記しています。

①＝ほとんど全ての世界史の教科書に掲載されている、最重要世界史用語。

②＝3～7割の教科書に掲載されている重要世界史用語。

③＝ほぼ全ての世界史用語集に掲載されているものの、教科書での掲載は1～3割以下の、差がつく重要世界史用語(ただし、どこかの教科書には記載されている用語)。

【 】で囲って、①～③の番号が振ってある用語はそのまま世界史用語ですので、しっかり意識して学習してください。

なお、用語選択は、極力、重要ではあるが差がつきそうなものを選びました。

特に赤字で記した和文は、様々な世界史用語集の内容を総和したものですので、そのまま和文として暗記するぐらい理解してください。

赤字になっていない和文の部分は、用語集内容よりやや踏み込んだ内容ですので、暗記するほどの和文ではありません。英語学習用と考えてもらっても結構です。(ただ、予備校の講義などではこれぐらいの史実に触れてくるのは当たり前レベルではあります。)

また、写真等の資料は、適切なパブリックドメインをイメージが湧きやすいように、添付してあります。

なお、アマゾンキンドル版は、全ての写真等の資料はサムネイル画像になっています。クリックかタップすると別途画面に拡大縮小できます。

4. 英文の方は、まず重要単語を解説・表記しました。単語を十分、理解してから、英文を読んでください。

そのさい、文中に青で重要単語を分かりやすくハイライトしてあります。この青でハイライトした、重要英単語、英語重要表現は、大学受験レベルです。必ず暗記、理解しましょう。

なお前記のとおり、固有名詞や難解すぎる英単語は、※印をつけたり、英単語のすぐ後ろに日本語表記したりして、暗記不要を明記しています。

5. なお、一部の用語には「V式」として、ダジャレなどのVワード方式の記憶のヒントを付けました。リラックスして記憶の一助に読んでください。

暗記するほど、英文を読み込みたい。でも、せっかく暗記した英文が何の役にもたたないのは非効率だ！がっ

ちり学習した英文がそのまま世界史用語の学習にもなる！

最強の勉強法で、最大の効率で、この参考書を読みこなし使いこなし、合格を勝ち取ってください。

(なお、目次はありません。おおむね時代順です。)

(公務員試験や教養学習のためにも、もちろんご利用いただけます。)

なお、**最終ページの目次は、PDF版用**となっています。Kindle版は文字の大きさ設定等で変わってきますのでご了承ください。

その他、あらゆる**著作等についての情報は、ホームページ** <http://tko.my.coocan.jp/index1.html> をご覧ください。都合により、ネットアドレスを引っ越す場合もありますので、見つからない場合は「TKO プロジェクト、ホームページ、Vワード」などでグーグル検索してください。

Dr.K & TKO プロジェクト  
2017年8月

## ■問...■■■■■

次の文を読み、更新世と完新世の違いを説明せよ。

- colloquially 《副》口語で、口語的に
- refer 《他》指す、□に出す、(…を)(…と)呼ぶ
- the Ice Age 氷河時代;更新世氷河時代
- geological 《形》地質学(上)の、地質の
- epoch 《名》(画期的な)時代、画期的な出来事、重要な事件、世((地質学の)世=紀(period)の下位区分)
- span 《他》〈年月に〉わたる、〈記憶・想像などが〉〈…に〉及ぶ、広がる
- (span 《名》スパン、期間、全範囲)
- glaciation 《名》氷河作用

The Pleistocene (=更新世(こうしんせい))(often **colloquially referred** to as **the Ice Age**) is the **geological epoch** which lasted from about 2,588,000 to 11,700 years ago, **spanning** the world's most recent period of repeated **glaciations**.

【更新世①】(しばしば口語で氷河時代と呼ばれた)は、繰り返された氷河作用が世界で最も最近の時期に及んでいた、約 2,588,000 年前から 11,700 年前まで続いた、地質学上の年代です。

- correspond 《自》一致する、符合する、相当する、該当する、対応する
- glacial 《形》氷河の
- archaeology 《名》考古学

The end of the Pleistocene **corresponds** with the end of the last **glacial** period and also with the end of the Paleolithic (=旧石器時代の) age used in **archaeology**.

更新世の終わりは、最後の氷河時代の終わり、およびさらに考古学で用いられる【旧石器時代①】の年代の終わりに一致します。

- approximately 《副》おおよそ
- present 《名》現在

The Holocene (=完新世(かんしんせい)) is the geological epoch that began after the Pleistocene at **approximately** 11,700 years before **present**.

【完新世①】は、更新世の後に始まった、現在より前の、およそ 11,700 年間の地質年代です。

■答■ (文中参照)



更新世の地層、Scarboro Cliffs、トロント、オンタリオ州、カナダ

■V式■

ブログを「更新せい！更新したら、感心せい！」



■問...■■■■■

- nomadic 《形》遊牧の
- tribe 《名》民族
- extinction 《名》滅亡
- found 《他》建国する
- reach 《名》地域

What is the name of the **nomadic tribe** who came to the place in the B.C. mid-3rd century after **extinction** of Bactria (=バクトリア) that Greek **founded** in the upper **reaches** of the Amu Darya (=アム川)?

紀元前 3 世紀中ごろに、アム川の上流にギリシア人が建国した【バクトリア①】の滅亡後に、その地にやってきた遊牧民族の、名前は何か？

■答■ Greater Yuezhi 【大月氏③】



現代のアム川

■問...■■■■■

董仲舒について、説明せよ。

scholar 《形》学者

Dong Zhongshu (=董仲舒) (179–104 BC) was a Han (=漢) Dynasty Chinese **scholar**.

【董仲舒(とうちゅうじょ)①】(紀元前 179 年–104 年)は、漢王朝の中国人の学者でした。

traditionally 《副》伝統的に

associate with ~と関係・関連させる、連想する

promotion 《名》促進、奨励、振興

He is **traditionally associated with** the **promotion** of Confucianism (=儒教) as the official ideology of the Chinese imperial state.

彼は、中国の帝国の公式イデオロギーとしての、儒教の奨励と、伝統的に関係しています。

favor 《他》より好む

worship 《名》崇拜

cult 《名》カルト

celebrate 《他》褒め称える

He apparently **avored** heaven **worship** over the tradition of **cults celebrating** the five elements.

彼は 5 つの元素を褒め称えるカルトの伝統※より明らかに天国崇拜を好みました。(※ = 五行説、五行思想のこと。のち、陰陽五行説となる。)

- Seemingly 《副》うわべは、表面上、見たところでは(明らかに)
- banish 《他》追放する
- Chancellery 《》(法官・大臣など)の地位、官庁
- adversary 《名》敵

**Seemingly banished** to the **Chancellery** of Weifang (=イホウ市<※山東省の市>) by his **adversary** Gongsun Hong (=※公孫弘), his teachings were transmitted from there.

彼の敵である公孫弘により、イホウ市の官庁へ追放されたようで、彼の教えはそこから伝えられた。

■答■ (文中参照)



董仲舒

## ■問...■■■■■

- rank 《名》階級、等級、地位、列、並び
- categorize 《他》分類する
- classify 《他》階級分けする、階層化する
- official 《名》官僚、公務員

① The nine **rank** system, also known as the nine grade controller system, was used to **categorize** and **classify** government **officials** in Imperial China.

9つの階級制度、あるいは9等級の管理制度として知られる制度は、中華帝国で、政府の官僚を分類して、階級化するのに用いられました。

- Prior to より前に、より先に
- denote 《他》表示する、示す、意味する、しるしである
- bushels 《名》約 35 リットル、液量および乾量の単位、多量、多数
- grain 《名》穀物

② Prior to the Nine ranks, official positions were **denoted** by their salary paid in number of **bushels** of **grain**.

9等級(の制度)の以前は、公的な地位は、穀物の量の単位数で支払われる彼らの給料によって示されました。

③ There are no poor people in the upper ranks and no powerful families in the lower ones.

— A common saying during the Song dynasty (=宋王朝), Jinshu (=晋書(しんしよ) = ※晋時代の歴史書)

【上品(じょうひん)に寒門(かんもん)なく、下品(かひん)に勢族(せいぞく)なし③】。

— 宋王朝時代、晋書でのことわざ■

■答■ Nine-rank system 【九品中正①】



曹丕(魏の文帝)→九品中正を初めて導入

■問...■■■■■

- appropriate 《形》適切である
- restoration 《名》復興

In the time of Tang (=唐), who believed the classical style of writing or guwen (=古文) would be **appropriate** for the **restoration** of Confucianism (= 儒教) ?

Answer the two names of them.

唐の時代に、誰が、文章の古典的なスタイルや古文が儒教の復興に適切である、とっていましたか？

2人、名前を答えよ。

■答■ Han Yu 【韓愈(かんゆ)③】

Liu Zongyuan 【柳宗元(りゅうそうげん)③】



韓愈



柳宗元

■V式■ 古文の復興を勧誘！（＝韓愈う！）

## ■問...■■■■■

サーマーン朝について、説明せよ。

The the Samanid (=サーマーン) dynasty was a Sunni Iranian empire, ruling from 819 to 999.

**【サーマーン朝②】は、スンニ派イラン系帝国であり、875年から999年まで支配した。**

□ encompass 《名》取り囲む、包囲する、含む

The empire was mostly centered in Khorasan (=ホラーサーン ※イラン東部) and Transoxiana (=※トランスオクシアナ(オクサス川(=アム川)より向こうの地)) during its existence, but at its greatest extent, the empire **encompassed** all of today's Afghanistan, and large parts of Iran, Turkmenistan, Uzbekistan, Tajikistan, Kyrgyzstan, Kazakhstan and Pakistan.

**その帝国は、存在する間は、たいていはホラーサーンとトランスオクシアナを中心にしていたが、その最大範囲においては、帝国は、今日のアフガニスタン全域、イラン、トルクメニスタン、ウズベキスタン、タジキスタン、キルギスタン、カザフスタン、およびパキスタンの大部分を含んでいた。**

□ suzerainty 《名》宗主権[の地位]:藩主[領主]の位[権力]、親戚

The Samanid state was founded by four brothers; each of them ruled their own territory under Abbasid (=アッバース朝の) **suzerainty**.



サーマーン朝の国家は 4 人の兄弟により設立されたが、それぞれは【**アッバース朝①**】の宗主権の下で彼ら自身の領域を支配した。

- ※Intermezzo 《名》(劇・歌劇などの)幕間(まくあい) 演芸、間奏曲
- identity 《他》同一性、一致、本人であること、正体、身元、独自性、主体性、本性
- fold 《他》家畜、囲い:[the fold]羊の群れ:(キリスト教会の)集会:共通の信仰・価値観を持っている集団.

The Samanid Empire is part of the Iranian **Intermezzo** (=※上記), which saw the creation of a Persianate culture and **identity** that brought Iranian speech and traditions into the **fold** of the Islamic world.

サーマーン朝帝国は、イラン系の幕間の国の一部ではあるが、それは、イスラムの世界の集団の中に、ペルシャ語とペルシャの伝統をもたらした、ペルシャの文化と独自性の形成を見せた。

- formation 《名》構成、編成、成立、形成、構造、形態

This would lead to the **formation** of the Turko-Persian culture.

このことは、トルコペルシャ文化の成立につながったのだろう。

The Samanids promoted the arts, giving rise to the advancement of science and literature, and thus attracted scholars such as Ferdowsi (=フィルドゥシー) and Avicenna (=アヴィケンナ).

サーマーン朝は、芸術を奨励し、科学と文学の進展の立ちあがりをもたらし、それゆえ、【フィルドゥシー③】や、【アヴィケンナ(イブン=シーナー)①】などの学者を引き付けた。

While under Samanid control, Bukhara was a rival to Baghdad in its glory.

サーマーン朝の管理下の間、【ブハラ③】は、その栄光において、バグダッドのライバルであった。

- revive 《他》生き返る、回復する、復活する、復興する、再び流行する
- patronize 《他》保護する、後援する、奨励する、ひいきにする
- Arabic 《他》アラビア語の、アラブ(人)の

Scholars note that the Samanids **revived** Persian more than the Buyid dynasty (=ブワイフ朝) and the Saffarid dynasty (※=サッフアール朝), while continuing to **patronize Arabic** to a smaller degree.

学者たちは、サーマーン朝が、【ブワイフ朝①】やサッフアール朝よりもよりペルシャ化を復興させたが、一方で、アラブ化にはより小さな程度でしか奨励しないことを続けていた、と特筆している。

- edict 《名》布告、勅令、命令
- declare 《他》宣言する、布告する、公表する、宣告する、発表する、言明する
- reconquer 《他》再征服する

In a famous **edict**, Samanid authorities declared that "here, in this region, the language is Persian, and the kings of this realm are Persian kings."

有名な布告において、サーマーン朝当局は、「ここ、この地域において、言語はペルシア語であり、この領域の王はペルシャの王である」と宣言した。

■答■ 文中参照



サーマーン朝領域

■問...■■■■■

李元昊について、説明せよ。

□ reign 《他》統治する、君臨する

Emperor Li Yuanhao (Chinese: 李元昊) of Western Xia (=西夏)(1003–1048) was the first emperor of the Western Xia Empire located in northwestern China, **reigning** from 1038 to 1048.

【西夏(せいか)①】の皇帝、【李元昊(りげんこう)①】皇帝(1003年–1048年)は、北西の中国に位置した西夏帝国の最初の皇帝であり、1038年から1048年まで統治した。

He was the eldest son of the Tangut (=タングート) ruler Li Deming (=李徳明。※李元昊の父)。

彼は、【タングート①】の支配者の李徳明の、最も年上の息子であった。

□ situate 《他》位置する、置く

In 1038 he declared himself the emperor of the Western Xia Dynasty whose capital was **situated** in Xingqing (=興慶府(こうけいふ)。※現在の銀川(ぎんせん))。

1038年に、彼は自身を、首都を【興慶府③】に置いた西夏王朝の皇帝と宣言した。

- launch 《他》進水させる、送り出す、乗り出す
- campaign 《名》戦役、作戦、戦闘

Afterwards he **launched** a **campaign** against the Song.

後に、彼は宋への戦役に乗り出した。

- deplete 《他》使い尽くす、枯渇させる
- due 《形》～ためて、せいで<to>
- scorch 《他》焦がす、焼く、枯らす

Although the Tangut empire won a series of three large battles, the victories proved to be very costly and they found their forces **depleted**, **due** in part to a **scorched** earth policy by the Song.

タングート帝国は一連の3回の大きな戦いに勝ったけれども、彼らは、部分的には宋による焦土戦術のせいで、その勝利が非常に高くつくと証明され、彼らの軍事力が枯渇しているのが分かった。

- nominal 《形》名目的な
- acknowledgment 《名》承認、感謝
- sovereignty 《名》主権、統治権
- tribute 《名》貢ぎ(物)、年貢、贄辞

In 1044 the Tangut Empire signed a treaty with the Song dynasty resulting in the **nominal acknowledgment** of Song **sovereignty** by the Tangut and the payment of **tribute** by the Song.

1044年に、タングート帝国は、タングートによる宋の統治権の名目的な承認、および宋による貢ぎ物の支払いを結果として生じさせた、宋王朝との条約にサインした。  
 (=注※【慶暦(けいれき)の和約③】のこと)

■答■ 文中参照



西夏文字

## ■問...■■■■■

デリー＝スルタン朝について、説明せよ。

- mostly 《副》大部分は、主に 普通は、大抵は
- stretch 《自》伸びる、広がる、及ぶ
- subcontinent 《名》亜大陸 (=大陸の中で地理的に独立した広い一部分のこと)

The Delhi Sultanate (=デリー＝スルタン朝) was a Muslim (=イスラムの) kingdom based **mostly** in Delhi (=デリー) that **stretched** over large parts of the Indian **subcontinent** for 320 years (1206–1526).

**【デリー＝スルタン朝①】は、320年(1206–1526)の間、インド亜大陸の大きな部分に広がった、主に【デリー①】に拠点を置いた、イスラム教の王国であった。**

- sequentially 《副》順次に

Five dynasties ruled over Delhi Sultanate **sequentially**: the Mamluk (=マムルーク(=奴隷)) dynasty (1206–90), the Khilji (=ハルジー) dynasty (1290–1320), the Tughlaq (=トゥグルク) dynasty (1320–1414), the Sayyid (=サイイド) dynasty (1414–51), and the Lodi (=ロディー) dynasty (1451–1526).

**5つの王朝が、順次、デリー＝スルタン朝を統治した:【奴隷王朝①】(1206–90)、【ハルジー朝②】(1290–1320)、【トゥグルク朝②】(1320–1414)、【サイイド朝②】(1414–51)、そして、【ロディー朝②】(1451–1526)である。**

□ origin 《名》起源

The first four dynasties (Mamluk, Khilji, Tughlaq and Sayyid) were of Turkic (=トルコの) **origin**, and the last dynasty (Lodi) was of Afghan origin.

最初の4つの王朝(奴隷、ハルジー、トゥグルク、およびサイイド)は、トルコ系に起源があり、この最後の王朝(ロディー)はアフガン系の起源をもっていた。

□ note 《他》気づく、認める、特筆する、書き留める

□ repel 《名》〈敵などを〉追い払う、撃退する；〈提案などを〉はねつける、拒絶する

□ enthrone 《他》王位につかせる。あがめる、尊敬する

The sultanate is **noted** for being one of the few states to **repel** an attack by the Mongol Empire, and **enthroned** one of the few female rulers in Islamic history, Razia Sultana, who reigned from 1236 to 1240.

デリー=スルタン朝は、モンゴル帝国による攻撃を撃退した数少ない国家の一つとして特筆されており、また、イスラムの歴史において数少ない女性の支配者である、ラズィーヤ=スルターナを王位につかせたが、彼女は、1236年から1240年まで統治した。

Aibak, a former slave of Muhammad Ghori, was the first sultan (=イスラム教国君主) of Delhi and his dynasty conquered large areas of northern India.



【アイバク①】は、以前はムハンマド・ゴリー (= ※ゴール朝の君主) の奴隷であったが、デリー (= スルタン) 朝の最初の君主であり、彼の王朝は北インドの広い地域を征服した。

□ storey = story 《名》(家・建物の)階, 階層

Aibak, founder of the Delhi Sultanate, started construction of the Qutub Minar's first **storey** around 1192.

アイバクは、デリー = スルタン朝の創設者であり、1192年頃、【クトゥブ = ミナール②】の最初の階の建築を開始した。

Afterwards, the Khilji dynasty was also able to conquer most of central India, but both failed to unite the Indian subcontinent.

後に、ハルジー朝はまた、中央インドのほとんどを征服することができたが、どちらの王朝も、インドの亜大陸を統一するには失敗した。

□ geographical 《形》地理学(上)の, 地理(学)的な

□ reach 《名》範囲、広がり

The sultanate reached the peak of its **geographical reach** during the Tughlaq dynasty, occupying most of the Indian subcontinent.

デリー＝スルタン朝は、トゥグルク朝の間にインド亜大陸のほとんどを占領して、その地理的な範囲の最大値に達した。

- decline 《名》衰微, 衰え, 減退. 低下; 退歩, 墮落
- take place 起こる
- assert 《他》断言する、力説する、強く主張する、我を張る、現われる
- breaking off 折れて取れる、外れる: 別れる、絶交する: 休憩する;(話などを)急にやめる

This was followed by **decline** due to continuing Hindu resistance, states such as the Vijayanagara (=ヴィジヤナガル) Empire **asserting** independence, and new Muslim sultanates such as the Bengal Sultanate (=※ベンガル＝スルタン朝、ベンガル王国とも言う) **breaking off**.

この王朝は、ヒन्दゥー教徒の継続的な抵抗や、【ヴィジヤナガル帝国②】のような独立を強く主張する国々や、分裂するベンガル＝スルタン朝のような新しいイスラム教王朝によって、衰弱していった。

- destruction 《名》破壊、殺人、絶滅、駆除
- desecration 《他》神聖冒瀆(ぼうとく)
- architecture 《名》建築術、建築学、建築様式、建物、構造、構成.

The Delhi Sultanate caused **destruction** and **desecration** of politically important temples of South Asia, but the time of their rule also included the earliest forms of Indo-Islamic **architecture**.

デリー＝スルタン朝は、南アジアの政治的に重要な寺院への破壊や神聖への冒瀆を引き起こしたが、しかしながら、彼らの支配の時代はまた、【インド＝イスラム建築③】の初期の形を包含していた。

□ succeed 《他》継承する、相続する、跡を継ぐ

In 1526 the Sultanate was conquered and **succeeded** by the Mughal Empire.

1526年に、デリー＝スルタン朝は、【ムガル帝国①】により征服され継承された。

■答■ 文中参照



Kuttull Minor, Delhi. The Qutb Minar, 1805

■問...■■■■■

□ de facto 事実上の

① Who was a powerful Oirat (=オイラト) Taishi (=太子) and **de facto** ruler of the Northern Yuan (=元) in 15th century Mongolia (=モンゴル)?

15 世紀モンゴルにおける、元の北方の強力な【オイラト①】の太子であり、事実上の支配者であったのは、誰であったか。

□ capture 《他》捕らえる

□ Fortress 《名》要塞

□ briefly 《副》一時的に

② He is best known for **capturing** the Zhengtong Emperor (=正統帝) of the Ming (=明) dynasty in 1450 after the Battle of Tumu **Fortress** (=土木堡(どぼくほ)の戦い=土木の変) and **briefly** reuniting the Mongols.

彼は、【土木堡(どぼくほ)③】の戦い=【土木の変②】の後に 1450 年に明王朝の【正統帝(せいとうてい)②】を捕らえたことと、一時的にモンゴル人を再統一させたことで、最もよく知られている。

■答■ Esen Taishi 【エセン=ハン②】



明の正統帝

■問...■■■■■

□ [ ] に人名を日本語で入れよ。

□ court 《名》宮廷

[ ] (1599 –1641) was a Flemish (=フランドルの) Baroque (=バロック美術の) artist who became the leading **court** painter in England, after enjoying great success in Italy and Flanders.

[ ] (1599 年 –1641 年) は、イタリアとフランドルでの大きな成功を味わった後に、イギリスの主要な宮廷画家になった、【フランドル派②】の【バロック美術②】の芸術家であった。

□ portrait 《名》肖像画

□ dominant 《形》支配的な、優勢な

He is most famous for his **portraits** of Charles I of England and his family and court, painted with a relaxed elegance that was to be the **dominant** influence on English portrait-painting for the next 150 years.

彼は、次の 150 年の間、英国の肖像画に対して支配的な影響力を持った、リラックスした優雅さによって描かれた、英国の【チャールズ 1 世①】および彼の家族や宮廷の、肖像画の数々により、最も有名である。

□ biblical 《形》聖書の ← bible

□ mythological 《形》神話上の

- subject 《名》題材、画題;主題:被写体
- display 《他》展示する、表に出す、見せる
- outstanding 《形》傑出した、素晴らしい
- facility 《名》才能、腕前、器用さ;設備
- draftsman 《名》デッサンの達人、製図者
- innovator 《名》革新者
- watercolour 《名》水彩
- etching 《名》銅版画、エッチング

He also painted **biblical** and **mythological subjects**, **displayed outstanding facility** as a **draftsman**, and was an important **innovator** in **watercolour** and **etching**.

彼はまた、聖書のおよび神話の題材を描き、デッサンの達人としての傑出した才能を見せつけたし、水彩画と銅版画においての重要な革新者でもあった。

- beard 《名》あごひげ
- name after ~ ~の名をとって...と命名する

The [  ] **beard** is **named after** him.

ファン・ダイクあごひげは、彼の名をとって、命名されている。

■答■ Van Dyke 【ファン=ダイク②】



ファン・ダイクの自画像



チャールズ 1 世の肖像



## ■問...■■■■■

- reformer 《名》改革者
- <friar 《修道士》>

① Who (c. 1484 –1566) was a 16th-century Spanish historian, social **reformer** and Dominican (=ドミニコ会の) **friar**?

誰(1484年–1566年)が、16世紀のスペインの歴史家、社会の改革者、そして【ドミニコ会③】の修道士でしたか？

- recruit 《他》募集する、募る
- missionary 《名》宣教師
- lobby 《他》ロビー活動をする、運動をする
- abolition 《名》廃止

② Traveling back to Spain to **recruit** more **missionaries**, he continued **lobbying** for the **abolition** of the encomienda (=エンコミエンダ制), gaining an important victory by the passing of the New Laws in 1542.

より多くの宣教師を募集するためにスペインへ旅しつつ、彼は【エンコミエンダ制②】の廃止の請願活動をし続け、そして、1542年に新たな法律を通過させ、重要な勝利を得ました。

- slavery 《名》奴隷制度
- abuse 《名》虐待
- indigenous 《形》土着の、固有の

- convince 《他》説得する
- court 《名》法廷、裁判所、裁判官、判事
- adopt 《他》採用する

③ He spent 50 years of his life actively fighting **slavery** and the violent colonial **abuse** of **indigenous** peoples, especially by trying to **convince** the Spanish **court** to **adopt** a more humane policy of colonization.

特にスペインの裁判所に、植民地化へのより人道的な方針を採用することを説得しようとすることによって、彼は、奴隷制度と暴力的な植民地の先住民への虐待と活発に戦うことに人生の50年を費やしました。

■答■ Las Casas 【ラス=カサス③】



ラス=カサス

■V式■ 「ラストの(=最後の)傘っす(=ラス=カサス)！俺が先住民を最後を守る傘となるっす！」

## ■問...■■■■■

マンサブダール制について、説明せよ。

□ administrative 《形》行政の、管理の

The 'Mansabdari system (=マンサブダール制) 'was the **administrative** system of the Mughal Empire (=ムガル帝国) introduced by Akbar (=アクバル) in 1571 A.D.

【マンサブダール制③】は、西暦 1571 年に、【アクバル①】により導入された、【ムガル帝国①】の行政に関する制度であった

□ origin 《名》起源

□ rank 《名》階級

The word mansab is of Arabic (=アラビア語の) **origin** meaning **rank** or position.

マンサブという単語は、階級あるいは地位を意味する、アラビア語の起源の単語である。

□ hence 《他》それゆえ

□ determine 《他》決定する

□ official 《名》公務員、役人、官公吏

The system, **hence**, **determined** the rank of a government **official**.

その制度は、それゆえ、政府の官吏の階級を決定した。

- officer 《名》役人、将校、士官
- divide 《他》分割する、分類する

Every civil and military **officer** was given a ‘mansab’ and different numbers which could be **divided** by ten were used for ranking officers.

すべての民政の官吏と軍の士官は、『マンサブ (mansab)』を与えられて、役人を階層付けするために用いられた、10段階に分類された、異なる数字を付与された。

- fixing 《他》(値段を)決める、固定する
- salary 《名》給料
- allowances 《他》給料額、手当

It was also meant for **fixing** the **salaries** and **allowances** of officers.

それは、また、役員の給料と手当を決めることを意図した。

- whereby 《他》=by which (それによって)～する
- noble 《名》貴族
- grant 《他》与える
- revenue 《名》収入
- assignments 《名》割り当て
- render 《他》執り行う
- bestow 《他》授ける
- unbridled 《形》馬勒をはずした、抑えのきかない、抑制のない、放逸な

It was a system **whereby nobles** were **granted** the rights to hold a jagir (=ジャーギール=※インドムスリム王朝の封土), which meant **revenue assignments** (not land itself) for services **rendered** by them but the authority **bestowed** upon them was not **unbridled** but with the direct control of these nobles in the hands of the king.

それは、**貴族たちはこの制度により【ジャーギール③】(=※インドムスリム王朝の封土・土地)を保持する権利を与えられたもの**であり、このことは、貴族によって執り行われた奉仕に対してであるが、王権が貴族たちに授けた(土地そのものではなく)収入の割り当てというものが、王の手によるこれら貴族への直接的な管理とともにあり、抑えのきかないものではなかったことを意味したのであった。

□ mention 《他》言及する

Abul Fazl (=アブル・ファズル=※ムガル帝国宰相。1551~1602) has **mentioned** 66 grades of mansabdars but in practice there were not more than 33 mansabs.

アブル・ファズルは、66段階のマンサブダールに言及したけれども、実際には、33を超えるマンサブはなかった。

□ reign 《他》治世

During the early **reign** of Akbar, the lowest grade was ten and the highest was 5,000.

アクバルの初期の治世の間では、最も低い段階が 10 であり、最も高かったのは 5,000 であった。

Towards the end of the reign it was raised to 7,000.

治世の終わりごろに、それは 7,000 に引き上げられた。

According to Badauni, it was fixed at 12,000.

バダウニ(=※ムガル帝国時代の歴史家。)によれば、それは 12000 で固定された。

□ suzerainty 《名》藩主の権力・地位

Higher mansabs were given to princes and Rajput (ラージプート=※8~13 世紀の北インドの王たちが、支配の正当性を主張した「王の子」が語源の言葉で、支配層のカーストの部族・集団。) rulers who accepted the **suzerainty** of the emperor.

より高いマンサブは、皇帝の藩主の地位を受けついた、王子たち、および【ラージプート②】の支配者たちに与えられた。

■答■ 文中参照



Portrait of Akbar the Great

## ■問...■■■■■

カピチュレーションについて、説明せよ。

- capitulation 《名》降伏、服従、(政府間)合意事項
- unilateral 《他》片務的な、一方的な
- contract 《名》契約
- sovereign 《名》君主、国王、元首
- relinquish 《他》放棄する、譲渡する、手放す
- jurisdiction 《名》司法権、裁判権
- border 《名》国境
- subject 《名》国民、臣民

A **capitulation** is a treaty or **unilateral contract** by which a **sovereign** state **relinquishes jurisdiction** within its **borders** over the **subjects** of a foreign state.

【カピチュレーション③】は、ある君主国が、ある外国の国民に対して、自らの国境内における司法権を放棄するという、条約または片務的な契約である。

- immune 《他》免疫の、免れて(from)
- civil 《形》民事(上)の、市民の
- criminal 《形》犯罪の、刑事上の
- action 《名》処置、判決、決定
- court 《名》法廷、裁判所
- institutions 《名》法令、設定、制度

As a result, the foreign subjects are **immune**, for most **civil** and **criminal** purposes, from **actions** by



**courts** and other governmental **institutions** in the state that makes the capitulation

結果として、外国の国民は、たいていの民事および刑事上の意図に対し、カピチュレーションを造ったその国の裁判所やその他の政府の法令による判決から免れる。

■答■ 文中参照



16th century copy of the 1569 Capitulations between Charles IX and Selim II

■問...■■■■■

- last 《自》続く
- win 《他》獲得する

Answer the name of the war that **lasted** from 1755 to 1763, the British **won** Louisiana (=ルイジアナ) in the east from the Mississippi (=ミシシッピ) River.

ミシシッピ川よりも東のルイジアナを、イギリスが獲得した、1755 年から 1763 年まで続いた戦争の名前を答えよ。

■答■ French and Indian War 【フレンチ・インディアン戦争③】

■問...■■■■■

- engagement 《名》交戦
- Revolutionary 《形》革命の

① What was the Battles' name of the first military **engagements** of the American **Revolutionary** War?

【アメリカ独立戦争①】の最初の武力衝突の名前は何か？

② The battles were fought on April 19, 1775 within the towns near Boston (=ボストン).

その戦いは 1775 年 4 月 19 日にボストンの近くの町で、行われました。

- mark 《自》示す、記す
- outbreak 《名》勃発
- conflict 《名》闘争
- colonies 《名》植民地
- mainland 《名》本土

③ The battles **marked** the **outbreak** of open armed **conflict** between the Kingdom of Great Britain and thirteen of its **colonies** on the **mainland** of British America.

その戦いは、イギリス、および英領アメリカ本土の 13 の植民地との間の、武力紛争の公然たる開始を示しました。

■答■ The Battles of Lexington and Concord 【レキシントン・コンコードの戦い③】



レキシントン・コンコードの戦い(PD)

■V式■ 「歴史と、今行動(=レキシントン・コンコード)の意味をしっかりと噛みしめ、独立するぞ!」「おー!」

■問...■■■■■

□ School 《名》派

① Especially whose writings and teachings the German Historical **School** of Jurisprudence (= 法学) is based on?

ドイツの【歴史法学派③】が依拠したのは、特に誰の著作と教えでしたか？

□ intellectual 《形》知的な

② The German Historical School of Jurisprudence is a 19th-century **intellectual** movement in the study of German law.

ドイツの歴史法学派は、独法の研究の 19 世紀の知的な運動です。

③ With Romanticism (= □マン主義) as its background, it **emphasized** the historical limitations of the law.

ロマン主義をその背景として、それは法律の歴史的な限界を強調しました。

■答■ Savigny 【サヴィニー③】



サヴィニー（1779~1886）

■V式■ 鑄に(=サヴィニー)まみれた古い歴史から法を学ぶのが歴史法学派

## ■問...■■■■■

トルコマンチャイ条約について、説明せよ。

- conclude 《名》終わりにする、完結する、締めくくる、結論を下す、断定する、結ぶ、締結する

The Treaty of Turkmenchay (=トルコマンチャイ) was an agreement between the Qajar dynasty (=カジャール朝) (modern-day Iran) and the Russian Empire, which **concluded** the Russo-Persian War (1826–28).

【トルコマンチャイ条約②】は、【カージャール朝①】(現代のイラン)とロシア帝国との間での合意であり、それはロシア-ペルシャ戦争(1826~28)を終わりにさせた。

It was signed in 1828 in Torkamanchay, Iran.

それは 1828 年に、イランのトルコマンチャイで署名された。

- cede 《他》譲る、割譲する、引き渡す

By the treaty, the Qajar dynasty **ceded** to Russia control of several areas in the South Caucasus (=カフカス<コーカサスも同じ>).

この条約により、カジャール朝は、南【カフカス②】のいくつかの地域の支配権をロシアに譲渡した。

- boundary 《名》境界(線)、限界、限度

The **boundary** between Russian and Persia was set at the Aras River.

ロシアとペルシアの境界はアラス川に設定されました。

- comprise 《名》成る、含む、(集まって)構成する
- ※Nakhchivan 《名》ナヒチェバン=現アゼルバイジャン内にあるナヒチェヴァン自治共和国(の首都)
- ※Iğdır Province 《名》ウードウル県=現トルコの東端の県
- Province 《名》州、省、地方、いなか、範囲、領域、分野、職分
- as well as …と同じようにうまく、…はもちろん、…も…も

These territories **comprise** modern-day Armenia (= アルメニア), the southern parts of the modern-day Republic of Azerbaijan (=アゼルバイジャン), Nakhchivan (=ナヒチェバン※), **as well as** Iğdır (=ウードウル※) Province (now part of Turkey).

これらの領域は、現代の【アルメニア②】、現代の【アゼルバイジャン③】共和国の南部、ナヒチェバン、ウードウル県(現在はトルコの一部)で構成されています。

This treaty was imposed by Russia, following military victory over Persia.

この条約はペルシアに対する軍事的勝利の後、ロシアによって課された。



Russia threatened to occupy Tehran in five days unless the treaty was signed.

この条約が署名されていない限り、5日間でロシアは【テヘラン③】を占領すると脅した。

- concept 《名》構想、発想、コンセプト、考え、概念
- doctrine 《名》教義

By this final treaty of 1828 and the 1813 treaty, Russia had finalised conquering all the Caucasus territories from Iran, comprising modern-day Dagestan (=ダゲスタン), eastern Georgia (=グルジア), Azerbaijan, and Armenia, all which had formed part of its very **concept** for centuries.

1828年の最終条約と1813年の条約によって、ロシアはイランから全てのカフカス領域を征服することを終えたのですが、それはダゲスタン、東【グルジア③】、アゼルバイジャン、そしてアルメニアを含んでおり、これら全ては、何世紀にもわたってまさにロシアという概念の一部を構成したのであった。

- amongst 《前》間で、…の中で、…の内で
- in the course of ~の過程で、~の経過中に、~の最中で、~の間に、~しているうちに

The area to the North of the river Aras, **amongst** which the territory of the contemporary nations of Georgia, Azerbaijan, Armenia and the North Caucasian Republic of Dagestan were Iranian

territory until they were occupied by Russia **in the course** of the 19th century.

アラス川の北部地域、これはグルジア、アゼルバイジャン、アルメニア、ダゲスタン北カフカス共和国という現在の国々の領土が中にあるわけだが、19世紀の渦中にロシアが占領するまでは、イランの領土であった。

As a further direct result and consequence of the two treaties, the formerly Iranian territories became now part of Russia for around the next 180 years, except Dagestan, which remained a Russian possession ever since.

この2つの条約のさらなる直接的な成果及び結果として、以前のイランの領土は、次の180年近く、ロシアの一部となったが、それはそれ以来ロシアの所有にとどまったダゲスタンを除いたものだった。

- dissolution 《名》分離、分解、溶解、融解、解散、消滅
- namely 《名》すなわち

Out of the greater part of the territory, three separate nations would be formed through the **dissolution** of the Soviet Union in 1991, **namely** Georgia, Azerbaijan and Armenia.

その領土の大きな部分から、1991年に【ソビエト連邦①】の解体を通して、すなわちジョージア、アゼルバイジャン、アルメニアの3つの別個の国々が形成されたのでした。

■答■ 文中参照



トルコマンチャーイ条約の署名

## ■問...■■■■■

崔 濟愚について、説明せよ。

Choe Je-u (=チェ・ジエウ、崔 濟愚(さい せいぐ)) (1824 – 1864) was the founder of Donghak (=東学), a Korean religious movement against foreign invasions and critical of Joseon (=李氏朝鮮) Dynasty government policies of the time.

**【崔濟愚②】(1824年–1864年)は、外国の侵略と、その時代の李氏朝鮮の危機的な政府の政策に対する朝鮮の宗教的な運動である、【東学(とうがく)②】の創立者であった。**

- peasant 《形》小作人、小作農、小百姓
- revolt 《名》〈具体的には可算名詞〉反乱, 暴動.  
《他》反乱を起こす, 反抗する, 反感を催すする
- martyr 《他》主義のために殺す. 迫害する, 苦しめる.

His teachings led to **peasant revolts** in Korea which were **contemporary** with the Taiping (=太平) Rebellion in China, and he was **martyred** by order of the Daewongun (=大院君(だいいんくん、デウオングン)) only weeks before the death of Hong Xiuquan (=洪秀全(こうしゅうぜん)).

**彼の教えは、中国で太平天国の乱で同時代だった、朝鮮で農民一揆に結びつき、また、彼は【洪秀全①】の死のわずか数週間前に【大院君②】の命令で殺害されました。**

- all-embracing 《形》包括的な
- embrace 《他》抱擁する
- proclaim 《他》(特に重大な国家的な出来事を)宣言する、公布する、示す

His birth-name was Choe Je-seon ("save and **proclaim**").

彼の出生名は Choe Je-seon(「保存し宣言する」)でした。

- blissfully 《副》この上なく幸せに

During his childhood, he was also called Bok-sul ("**blissfully** happy").

幼年期に、彼も Bok-sul(「この上なく幸福に」と呼ばれました。

- saviour 《名》救助者, 救済者, 救い主
- ignorant 《形》無学の、無知の、無知で

He took the name Je-u ("**saviour** of the **ignorant**") in 1859.

彼は 1859 年に Je-u(「無知なものの救済者」という名前にしました。

- disciple 《自》弟子

His **disciples** called him Su-un ("water cloud"), which was the name he used for his writings, and also called him Daesinsa, the great teacher.

彼の弟子は、彼を Su-un(「水雲」)(それは彼が著述に使用した名前だった)と呼び、彼をさらに Daesinsa(偉大な教師)と呼びました。

■答■ 文中参照



全瑋準

■問...■■■■■

- scholar 《名》学者
- reformist 《名》改革者
- Republic 《名》共和国

① Who (1873 –1929) was a Chinese **scholar**, journalist, philosopher, and **reformist** who lived during the late Qing (=清) dynasty and the early **Republic** of China?

誰(1873–1929)が、晩期の【清朝①】と初期の【中華民国①】の間に生きた、中国人のの学者、ジャーナリスト、哲学者、そして改革者でしたか？

- Empress 《名》皇后
- along with と一緒に、～と共に、～と共謀して
- condemn 《他》非難する
- radical 《形》急進的な

② **Empress** Dowanger Cixi (=西太后) strongly opposed his reforms at that time and **along with** her supporters, **condemned** the "Hundred Days' Reform (=百日維新)" as being too **radical**.

【西太后(せいたいこう・せいたいごう)①】は、その時期の彼の改革に強硬に反対して、彼女の支持者と一緒に、「百日の改革(=百日維新)」をあまりに急進的であると非難しました。

- Conservative 《形》保守の
- Coup 《名》政変、クーデター、一撃

③ In 1898, the **Conservative Coup** ended all reforms, and he fled to Japan, where he stayed for the next 14 years.

1898年に、保守派のクーデターはすべての改革を終わらせ(=※注:[戊戌の政変③]のこと)、そして、彼は日本へ逃げ、そこで、彼は次の14年の間滞在しました。

■答■ Liang Qichao 【梁啓超(りょうけいちよう)③】



梁啓超



## ◆あしがき

これまでの作品群は改定されていますので、以下が2017年現在、正しい過去作品です。

特に、KADOKAWA 中経出版からの新しいVワードシリーズ3冊は2014年発行のものです。電子書籍もあります。(イディオム版は2016年7月発売済、電子版もあり)。

また、古文単語、世界史用語、日本史用語もすでに、電子書籍が発行されています。

原作Dr. K、著作TKOプロジェクトの過去の作品群を紹介しましょう。

### \* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・① 入試基礎レベル編<=旧基本編>、

・② センター試験レベル編<=旧必修編>、

・③ 国公立・難関私大レベル<=旧ゴロで覚えるV英単語1200>

<↑以上3冊はアマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。なお、カドカワ中経出版の電子書籍はアマゾン以外のフォーマットにも多数対応しています。お好きな端末でご利用ください。>、

・④ 上級編(紙の本は実質的に絶版:アマゾンの電子書籍は上下に分けて発売しました。)

・⑤ 完結編(紙の本を発売中。2017年現在、電子版はありません)、

・⑥ 『同英熟 ヴィディオム』(現在、紙の本を発売中。これは、2016年7月に全面リニューアルしたものです。電子書籍を含め、発売済み)。

＜↑こちらも、アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。なお、カドカワ中経出版の電子書籍はアマゾン以外のフォーマットにも多数対応を予定しています。お好きな端末でご利用ください。＞、

#### \* 小学館スクウェア刊

##### ・⑦ ゴロV 入門英単語

＜↑電子書籍は上下2巻制で発売中です。アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。

紙の本は、書店から注文可能です。＞

#### \* ブイ2ソリューション(星雲社)刊

##### ・⑧ ゴロV 標準英単語

＜↑アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。また、PDF版がDLマーケットから発売中です。

なお、元の紙の本も電子版もイラストが圧倒的に少なかったため、今回、各章別に4巻に分けて、全イラスト付電子版を発売済みです。＞、

#### \* 文英堂刊

##### ・⑨ Dr. Kの直観で覚える世界史V用語600

＜↑アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。

また、PDF 版が DL マーケットから発売中です>

・⑩ Dr. K の直観で覚える日本史 V 用語 600

<↑アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。

なお、PDF の「体験版」を DL マーケットから無料で配布 中です。>

\*ハローケイエンターテイメント刊、ワニの本

・⑪ Dr. K のゴロで覚える古文 V 単語 312

<↑アマゾンの電子書籍ありなので、アンドロイド、 아이폰、パッド、パソコンでも読めます。>

この本を含む、以上の作品群は、おカゲ様で爆発的に 売れています。

御礼申し上げます。

スマホやパッド、パソコンで読める、また、廉価なこの電 子版が、皆様のさらなるお役に立てることを切に願ってい ます。

## ◆最新レベル順

なお、英語書籍の最新のレベル順は以下の通りです。

\* 小学館スクウェア刊

・⑦ゴロV 入門英単語(電子版上巻=発売済み。ただし紙の書籍もあります。紙の書籍は下記の下巻と合わせて1冊です))

↓

\* 小学館スクウェア刊

・⑦ゴロV 入門英単語(電子版下巻。)

↓

\* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・① 入試基礎レベル編<=旧基本編>、

↓

\* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・② センター試験レベル編<=旧必修編>、

↓

\* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・③ 国公立・難関私大レベル<=旧ゴロで覚えるV英単語 1200>

↓

\* ブイ2ソリューション(星雲社)刊

・⑧ ゴロV 標準英単語

※③と⑧のレベルは混在しているので、③の前半終了後、⑧の前半から学習しても問題ありません。

電子版は、

(1)紙の本そのままを電子化した、イラストがほとんどつ

いていないものと、

(2)今回、全語呂にすべてイラストを付加し、各章別に4巻に分けたものの、

2種類が発刊されています。

↓

\* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・④ 上級編

(ただし、電子版はアマゾン対応で、カドカワ中経出版の発行ではありません。なお、電子版は上下巻に分かれて発売中です。イラスト以外は、紙の本とほぼ内容は同じです)

↓

\* KADOKAWA 中経出版刊

・『ゴロ合わせ合格英単Vワード』シリーズ。

・⑤ 完結編

## ▼著者紹介

記憶術のカリスマ「Dr.K」(慶大医、東大文IIなど合格、さらに某超々難関国家試験・資格試験にも合格)の秘伝の作品を世に送り出した日本最強の頭脳集団で、東大・慶大(医)出身者有志が結集した団体。彼らは、各々が受験生であった当時、数十万人が挑んだ全国模試で一桁、二桁台の順位を常に維持したという精鋭たちである。当然、この集団は教育界・受験界にふだんはかかわりを持たず、彼らを必要とする世界中のさまざまな分野における「エリート」として多忙を極めている。しかし「Vシリーズ」を企画・進行するときには、メンバーは再び集まり、受験生のために力を合わせ、そのノウハウを惜しみなく開示するのである。この頭脳集団の名の由来は、テクニカル・ノックアウト(ダウンもさせてもらえないほどのワンサイドマッチを、見かねたレフリーがノックアウトを宣告して試合を終わらせること)のTKOからきている(異説あり)。ラッキーパンチでの勝利ではなく、完膚無きまでに試験を打ちのめして勝利しよう!

主な著書に、

『ゴロあわせ合格英単Vワード』(入試基礎編、センター試験編、難関私大編、上級編、完結編の全5冊)、

『ゴロあわせ合格英熟Vイディオム』(以上は中経出版刊)、

『ゴロV入門英単語』(小学館スクウェア刊)、

『ゴロV標準英単語』(ブイツーソリューション刊)、

『ゴロで覚えるV英単語 1200』、

『Dr.Kのゴロで覚える古文V単語 312』(以上はKKベストセラーズ刊)、

『Dr.Kの直観で覚える世界史V用語 600』、

『同・日本史V用語 600』(以上は文英堂刊)。

なお、全ての既刊英単語集の内容は重複していないので、これまでに出版された全ての英単語集をレベル順に学習するよう、おすすめする。

Dr.K & TKO プロジェクトのホームページは、

<http://tko.my.coocan.jp/index1.html>

です。今後、ホームページを引っ越す場合があるかもしれませんが、その際は検索サイトで「TKOプロジェクト、ホームページ、Vワード、ゴロあわせ、英単」などのキーワードで検索してください。また、メールアドレスは [drkdrk@yahoo.co.jp](mailto:drkdrk@yahoo.co.jp) です。

## ◆目次◆

<カタカナ>と<漢字>で 50 音順分けています。

★は見出し語。

①は最重要語、②は標準語、③はやや難語です。

ただし③でもおおむね教科書2~3割以上に掲載の単語です。

(おおむね山川出版社レベルで③でもだいたい赤文字見出し以上。ほぼ黒文字ではありません。つまりかなり必須用語)。

## ■カタカナ■

### 【ア行】

アイバク① p51

アヴィケンナ(イブン=シーナー)① p38

アカディア② p104

アクバル① p78

アケメネス朝① p21

アゼルバイジャン③ p127

アッカド人★① p9

アッティラ王① p26

アッバース朝① p37

アメリカ独立戦争① p105

アルメニア② p127

アレクサンドル1世① p112

アン(女王)① p102

アンリ2世③ p83

イクター制度★② p40

インド=イスラム建築③ p53

インド国民会議派① p151

ヴァロア朝② p67

ウィーン会議① p115



ウィーン会議① p120  
ウィーン体制① p120  
ヴィジヤヤナガル帝国② p52  
ウェストファリア王国③ p114  
ウェブ夫妻③ p143  
ウラディミル 1 世★① p33  
ウラディミル大王① p33  
エセン=ハン★② p58  
エピクロス② p14  
エピクロス主義★② p16  
エラスムス★① p60  
エンコミエンダ制② p72  
オイラト① p58  
オスマントルコ帝国① p139

## 【カ行】

カージャー朝① p126  
ガザーリー (=ガッザーリー)★③ p41  
カタラウヌム平原(あるいは野原)の戦い★② p26  
カトー=カンブレジ条約★② p83  
カニング★② p119  
カピチュレーション★③ p93  
カフカス② p126  
ガリア③ p27  
カンタベリー物語② p56  
カンビュセス 2 世③★ p21  
キエフ=ロシア③ p33  
キエフ公国② p33  
クトゥブ=ミナール② p51  
グルジア③ p128  
コント★③ p124

## 【サ行】

- サーマーン朝★② p36
- サイド朝② p49
- サヴィニー★③ p117
- サン＝ドマング③ p107
- サン＝ピエトロ大聖堂① p62
- サン＝ステファノ平和条約② p139
- ジブラルタル② p103
- ジャーギール③ p78
- シユメール人★① p9
- シユレジエン③ p98
- ジンナー③ p151
- スーフイズム③ p41
- スペイン継承戦争① p101
- スポンサー★② p131
- スワラージ(「自治」)① p150
- セム語① p9
- セルジューク＝トルコ① p40
- ソビエト連邦① p128

## 【タ行】

- タングート① p43
- ダンチヒの自由市③ p114
- チャールズ・ダーウィン① p132
- チャールズ 1 世① p64
- チヨースー② p56
- ティラク★② p149
- ティルジット条約★③ p112
- デカメロン①★ p54
- テヘラン③ p128
- デモクリトス② p14
- デリー＝スルタン朝★① p49

デリー① p49  
ドイツ領東アフリカ③ p147  
トゥグルク朝② p49  
トゥサン＝ルヴェルチュール★① p107  
トーリ党① p119  
ドミニコ会③ p72  
トルコマンチャーイ条約★② p126

## 【ナ行】

ナーガールジユナ(=竜樹(りゅうじゆ))★③  
ナポレオン1世① p112  
ニューファンドランド② p103  
ノブゴロド② p33

## 【ハ行】

ハーヴェイ★③ p95  
ハイチ革命① p110  
バクトリア① p13  
ハドソンの灣会社の領域② p103  
ハプスブルグ家① p86  
パリ条約③ p98  
ハルジー朝② p49  
バロック美術② p64  
パンノニア② p28  
バンヤン③ p96  
ヒューマニズム① p68  
ファン＝ダイク★② p65  
フィルドウシー③ p38  
フェビアン協会★③ p143  
フェリペ2世① p83  
フェリペ5世③ p102  
ブハラ③ p38

フベルトゥスブルク条約★③ p98  
フランク族① p27  
フランソワ1世★② p67  
フランドル派② p64  
フランドル派② p70  
ブリュージュ★② p70  
ブルガリア公国③ p140  
フレンチ・インディアン戦争★③ p97  
ブワイフ朝① p38  
フン族① p26  
ベルリン会議② p141  
ベルリン条約② p141  
ボッカチオ① p54  
ポトシ(銀山)① p76

## 【マ行】

マジ・マジ反乱★③ p147  
マンサブダール制★③ p78  
ミノルカ島① p103  
ムガル帝国① p53  
ムガル帝国① p78  
メロヴィウス③ p27  
モナリザ③ p68  
モンロー主義① p120

## 【ヤ行】

ユトレヒト条約★① p101

## 【ラ行】

ラージプート② p81  
ラス=カサス★③ p73  
リューリク王朝③ p33

ルイ14世① p102

ルター① p60

レオ10世② p60

レオナルド・ダ・ヴィンチ③ p68

レキシントン・コンコードの戦い★③ p106

ロディー朝② p49

## 【ワ行】

ワルシャワ大公国③ p114

## ■漢字■

### 【ア行】

王陽明(おうようめい)派① p89

### 【カ行】

価格革命★① p74

宦官(かんがん)② p91

開封(かいふう)★① p32

開封② p46

完新世① p7

韓愈(かんゆ)③ p30

徽宗(きそう)② p46

魏忠賢③ p91

旧石器時代① p7

欽宗(きんそう)② p46

金① p46

九品中正★① p25

楔形文字① p9

愚神礼賛① p60

慶暦(けいれき)の和約③ p45

血液循環論③ p95

興慶府③ p43

顧憲成★② p88  
孔子① p11  
更新世★① p6  
洪秀全① p136  
高宗(こうそう)② p47  
黒死病① p54

## 【サ行】

崔濟愚★② p136  
七年戦争② p98  
実証主義哲学③ p124  
朱熹(しゅき)① p89  
種の起源① p132  
周① p10  
宗教改革① p60  
春秋② p11  
春秋左氏伝(さしでん)③ p12  
荀子(じゅんし)★① p18  
女真① p46  
上品(じょうひん)に寒門(かんもん)なく、下品(かひん)  
贖宥状=免罪符★① p60  
に勢族(せいぞく)なし③ p25  
神聖同盟① p120  
正統主義① p121  
正統帝(せいとうてい)② p58  
清朝① p145  
西夏(せいか)① p43  
靖康(せいこう)の変② p46  
西太后(せいたいこう・せいたいごう)① p145  
絶対君主制① p68  
宋① p32

## 【タ行】

- 太平天国の乱② p134  
大院君② p136  
大月氏★③ p13  
大乘仏教① p22  
大陸軍③ p113  
中華民国① p145  
趙匡胤(ちょうきょういん)★① p32  
天路歷程③ p96  
都市国家① p9  
土木の変② p58  
土木堡(とぼくほ)③ p58  
奴隸王朝① p49  
東学(とうがく)② p136  
東周② p11  
東林(「東の林」)書院② p89  
東林(とうりん)運動③ p88  
董仲舒(とうちゅうじょ)★① p19

## 【ナ行】

- 西ゴート王国② p26  
捻軍(ねんぐん)★③ p134  
農夫の踊り③ p71

## 【ハ行】

- 戊戌の政変③ p146  
墨子② p11

## 【ラ行】

- 柳宗元(りゅうそうげん)③ p30  
李元昊(りげんこう)★① p43  
梁啓超(りょうけいちょう)★③ p146

臨安(りんあん)① p47

歴史法学派③ p117

魯★③ p10

露土戦争② p139